

Vol.2 No.13 2006年7月

～ 特殊分析サービスのご案内 ～

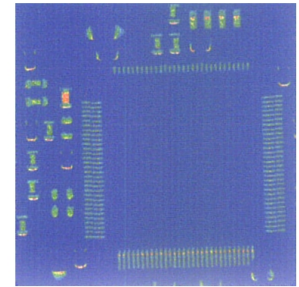
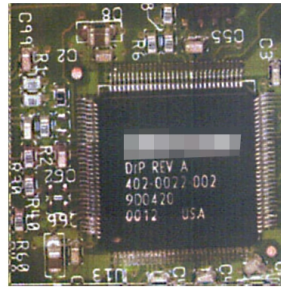
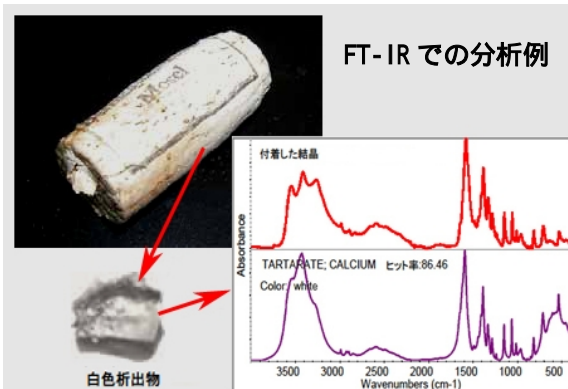
近年、環境分析以外の様々な分析のニーズが多く寄せられています。弊社は、食の安全・安心に関わる残留農薬の分析や健康問題として注目されているアスベストの分析、家電品に含まれる有害物質など様々な分析に対応してまいりました。今回、蛍光 X 線分析や赤外線分析などを駆使した異物同定等の特殊分析サービスのご案内をいたします。

異物同定分析へのアプローチ

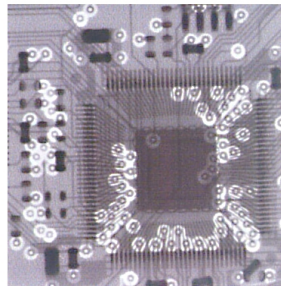
種々の産業において製品の品質を向上させるため、様々な取組みを行っていることと思いません。しかし、このような厳重な取組みを行っていても万に一つの規格外の製品が出てしまうことがあります。そのような製品の調査等にご協力いたします。

製品上に発生してしまった微小な異物などを顕微鏡、微小部蛍光 X 線分析装置や顕微 FT-IR 分析装置、X 線回折分析装置など様々な分析方法を駆使しお客様のご要望・疑問解決のお手伝いをいたします。

また、品質上の分析として製品・材料などの X 線透過像撮影や金属分布の分析、各種金属の同定など非破壊検査にも対応いたします。



電子基板上の鉛の
元素マップ画像



電子基板の X 線透過像

蛍光 X 線による分析例

分析例)

- ・電子基板上の有害金属の非破壊分析
- ・金属材料等の非破壊成分分析
- ・食品等の混入・付着異物の解析
- ・製品化学処理後の処理剤の表面残量 など

その他、特殊分析・JIS や公定法に無いようなものでも気軽にご相談下さい。分析方法の調査から分析方法の検討・確立などを行い、幅広い分析ニーズにお応え致します。

環境科学センター 水環境部 柿沼範洋(農学博士)

～ 編集後記 ～

梅雨もなかばに差し掛かり、夏ももうそろそろ？という期待に胸が膨らみます。

自分は業務として、微生物の検査や食品中の残留農薬分析などの『食の安全・安心』に関わる分析をしています。先日、たまたま購入して食べ忘れていた菓子パンにカビが生えていました…。もともと大学時代に微生物の研究をしていたので、『あー、ペニシリウム(アオカビ)か～。食べても大丈夫。』と思い食べてしまいました。でも、結構多くのお客様から『微生物の同定できますか？』との声も多く聞きます。この季節、衛生面には気をつけたいですね。

業務内容

調査・分析・測定部門 (水質・大気・土壌・食品・環境アセスメント)
 プラント・工事・メンテナンス部門 (排水処理・用水処理・各種メンテナンス)
 水処理薬品部門 (ホウ酸・空調・化学洗浄関連薬品他)
 環境保全機器部門 (滅菌・ろ過装置・各種測定計測器 他)

